

計画を策定しました

みなさんの参画をお願いします～

地域公共交通計画」を策定しました。この計画は、「安平町地域公共交通網形成計画（平成29年度～今または政策推進課でご覧いただけます。

道や近隣市町との連携や観光者といった広域の観点も踏まえたさらなる利用促進等を図ることはもとよ担型の交通体系にとどまらない「人の生活を中心に置いた最適化」という視点から、移動ニーズにあった魅力ある地域社会を見据えた便利で利用される持続可能な公共交通の実現を目指していきます。

解とご協力が不可欠となります。高齢化が進むにつれて公共交通を求める声が大きくなる一方で、地域ら、内外の資源を総動員し、役割分担の下で運営側の責任（より良いサービス提供等）と使う側の責任の積極的な参画をお願いします。

に活用して、将来の魅力ある地域社会を見据えた便利で利用される公共交通を目指す

連携による利便性が高く、持続可能な公共交通の実現

	施策	私たちへの影響
改善	施策① シームレスな公共交通体系の維持による公共交通利用者の確保 ⇒追高通学定期券補助、接続環境の向上等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 鉄道のあるまち・暮らし ▶ 都市機能を享受できる移動環境の確保 ▶ 自宅や目的地と近い乗降環境になり利便性が向上 ▶ 地域経済の基礎となる移動の確保～商業施設等の維持に貢献 ▶ 高齢者は通院や買い物に行きやすくなる ▶ 子どもは教育活動に参加しやすくなる ▶ 支える人材と乗客の獲得による自由度の高い移動の確保（移動のセーフティネット構築） ▶ ICT技術を活用した便利にお得に利用できるサービスで、公共交通がより身近になる ▶ 高齢者等を支えるスマホ教室、紙媒体による情報提供で安心
	施策② 関係機関との協議・連携による議論の活発化 ⇒交通事業者、道・沿線市町、福祉・医療等	
強化	施策③ 現状のルートや運行時間に配慮した利便性の高い循環バスへの見直し ⇒自由乗降区間の拡充、路線見直し等	
	施策④ 移動ニーズに合わせた選択と集中による強弱のある運行形態への変更 ⇒午前便の増便・午後便の削減、貨客混載等	
の振興	施策⑤ 事前登録、利用予約など乗車前の仕組みの改善 ⇒スマホ予約システムの改善や登録促進等	
	施策⑥ デマンドバスの改善とハイヤーのすみ分け・補完 ⇒方向限定の解除、ハイヤー空白の改善等	
	施策⑦ 土日を含めた持続可能な輸送手段確保のための継続的な人材確保・資金調達検討 ⇒兼業や協力隊の活用、二種免許取得支援等	
活性化	施策⑧ ICT技術を活用した公共交通の利用促進 ⇒循環バスのオープンソース化（乗り換え検索等が可能に）、MaaSの導入検討等	
	施策⑨ 生活交通を中心とする観光二次交通への応用 ⇒乗ること自体も目的になる移動手段検討等	
	施策⑩ 企画乗車券や割引サービス等の運賃施策の検討・継続 ⇒運賃支援策の継続、町外親族への拡充等	
	施策⑪ 町民自らが考え、協働による意識の醸成 ⇒ノーカー運動、試乗体験ツアーの支援等	

（取り組みの例（⇒）は、実施段階でさらなる検討を行いますので確約するものではありません。）